

2030年の すまいと暮らしを 創造しよう!

12年後はどんな時代!? 人々の暮らしは?
技術革新は? 賃貸マンションの未来とは?

学部学科、学年もさまざまな
法政大学の14名の学生が4チームに分かれ
多くの賃貸マンションを運営管理する
三井不動産レジデンシャルリースの課題に挑戦。
どんなアイデアが飛び出すか、期待が高まります。



富裕層向け超高級物件に
羨望と感嘆の声

法政大学と三井不動産レジデンシャルリースがコラボするPBLは、まず学生の自己紹介を兼ねた挨拶からスタート。「就活前にプレゼン力を高めたい」「不動産業界に興味があった」「視野を広げたい」「スキルアップしたい」と、各自が参加動機を述べます。

その後、同社の事業説明に移ると、学生たちはメモを取りながら耳を傾けます。不動産の賃貸事業と一口に言っても、企画開発、仲介、運営管理、コンサルティングと多くのフェーズから成り立っていることが紹介されました。

続いて、今まで以上にAIをはじめとした技術革新が進み、不動産業界をテクノロジーの力で改革する「Real Estate Tech」が叫ばれる中、2030年の暮らし、住まいについて企画するというPBLテーマが発表されました。

さらに、法政大学出身の若手社員を交え、懇親会を兼ねたランチに入りました。同窓の先輩から身近に話を聞ける絶好の機会とあって、大学時代の話、仕事の話など、さまざまな話題で盛り上がりつつありました。

その後、同社が運営管理する大型タワーマンションを見学。分譲であれば億ションに相当する超高級賃貸マンションだけ

に、都心の景色が一望できる高層階のラウンジをはじめ、ライブラリーなど、共有施設も至れり尽くせり。学生たちは羨望と感嘆の声を上げていました。

オリエンテーション会場に戻り、2030年の自分を想像して、どんな暮らしをしているかを語り合うグループワークを行い、内容充実の初日が終了しました。

法政スピリットで
乗り越えた数々の難關

学内でのワークショップは計4回実施。アイデアそのものは出るものの、それを提案レベルまでまとめるのに各チームとも苦労の連続。

というのもインターンシップやさまざまな事情でメンバー全員が揃う機会が少なく、中には盲腸で入院せざるを得ない学生もいました。そうなるも一度まともにかけていた意見も、メンバーが替わると、やり直しになるなど、スムーズにグループワークが進まないケースも見受けられたのです。

そうした難関を法政スピリットでなんとか乗り越え、後半2回の中間発表を経て、提案内容のブラッシュアップと資料の作り込みに注がれました。

格段の進歩を見せたプレゼン
最終日は、4チームとも中間発表からは格段の進歩と成長が見られた発表となりました。

オリエンテーション | 企業 → 学生



「三井の賃貸」として、入居者とオーナーの間を取り持つ三井不動産レジデンシャルリース。周りとの良好な関係づくりを活かすことで最適なソリューション提供を目指す同社からは、「2030年のすまいと暮らしを創造しよう!」というテーマが発表されました。人口減少やインターネットの発達によって、事業環境が激変する2030年に向け、魅力的な暮らしやサービスはどうあるべきか、未来の顧客層である学生の若く豊かな発想力と視点からの企画提案が求められました。

発表を聞いた三井不動産レジデンシャルリースの幹部の方からの総評では「現実的なアイデアから、未来的な提案まで、バラエティに富んでいた」「課題に対する背景や定義づけがしっかりととなされていた」という高評価の意見が多かったものの、「裏付け部分よりも、アイデアや提案部分をもっと前面に押し出せば、さらに良くなったのでは」という辛口のコメントも出され、学生にとっては将来の励みとなりました。

和の衣装に拍手喝采!



「チーム大革命」は衣装にも凝った演出を施し、会場を盛り上げました。「和んルーム」という提案にふさわしく、和の伝統をイメージした衣装で登場。

プレゼンテーション | 学生 → 企業

チーム名 Stairs

提案 AI活用で選択可能な
ライフスタイルを提供

多様化する入居者のニーズやライフスタイルに合わせ、共用施設やオプションサービスを選択可能な賃貸マンションを提案。食事や掃除、買い物などの日常生活動作を補助するAIサポート、シアタールーム、キッズルームなどの共用施設を自由に選べることで、さまざまな世代やライフスタイルにマッチした住まいを提供。

【参加学生】高橋和希、三好亜弥、細田優



チーム名 大革命

提案 独身者のオアシス
「最も古く新しい家」

結婚願望のある高収入の独身者をターゲットにした賃貸マンションを提案。AI搭載人型ロボット「リース君」が家事を手伝ってくれたり、帰宅後のさびしさを紛らわしてくれるほか、癒やしの空間として共用の和室「和んルーム」を設置。時間、空間、感情の面で、余裕や安らぎを与えてくれるというもの。

【参加学生】吉田美穂、高橋李佳、植地勇斗



チーム名 ふれあい

提案 AI活用で一人暮らしでも
他人との交流がある暮らし

人と人とのつながりはSNSをはじめとしたオンライン上に移行していることを背景に、オフラインでは孤独な若者が増えていると指摘。そこで賃貸マンションを1つのコミュニティとし、AIによるマッチングで、家事や買い物などを入居者同士がサポートするシステムを構築。それにより人とふれあう機会を増やそうという提案。

【参加学生】小川龍ノ介、高梨真希、石川智優理、奥村春香



チーム名 加藤

提案 「利便性×つながり」
三世帯が集う賃貸マンション

無縁社会の出現など、今後ますます少子高齢化による問題が予想されることから、二世帯、三世帯が同居できる賃貸マンションを提案。設備・サービス面では、入居者の健康状態を感知する安全センサー、音声認識を活用した生活サポート、病院やスーパーの併設など、高齢者にとって、安心・快適なすまいを企画。

【参加学生】深谷野乃花、加藤優芽、大澤諒典、平林莉乃



プレゼン直前まで
手を入れ続けた
発表資料

OB社員とお弁当を
食べながら
ミーティング



意見がなかなかまとまらず苦労の連続だった大学でのワークショップ。中間発表時には三井不動産レジデンシャルリースの社員を迎え、貴重なアドバイスをいただきました。それをきっかけに、持ち前の法政スピリットを発揮し、プレゼンまでこぎ着けました。

お互いの顔を見ながらディスカッションが白熱



PBLを終えて

法学部
法律学科 3年
深谷野乃花さん

意見がまとまらず大変なときもありましたが、なんとかチームワークを発揮してプレゼンに臨むことができました。自ら発信する力も身につけ、住まいについて真剣に考えることで不動産業界にも興味湧き、貴重な経験となりました。

人事部ダイバーシティ推進課
課長代理
平山藍子さん

大学でのワークショップにも参加し、学生の皆さんと直接ふれあう機会をいただき感謝しています。いずれもよく考えられた提案で、非常に参考になりました。ぜひ参加者同士のつながりを大切に、今回の経験が今後の皆様のご活躍につながれば、大変うれしく思います。

University

法政大学



1880年創立。「自由を生き抜く実践知」を憲章に掲げ、主体的、自立的かつ創造的に、新しい時代を構築する人材の育成に努めている。

Company

三井不動産レジデンシャルリース



三井不動産グループの賃貸住宅運営管理会社。賃貸マンションの商品企画から賃貸運営のトータルマネジメント、不動産コンサルティング事業を展開。